

英語の勉強方法

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

哲学者の森有正さんがお書きになった「木々は光を浴びて」という大変美しいエッセイがある。この季節の栃木県の山々は、若芽が一斉に萌え出し、光を浴びて大変美しい色に変わりつつある。私の最も好きな季節。

(1) 学校に行っていて英語の授業を受けている人

(2) 学校に行っておらず英語の授業を受けていない人

* この2つの場合に分けて、まずお話しします。

2. 学校に行っていて英語の授業を受けている人

(1) 学校の英語の授業を中心に勉強すること

(2) 教科書をよく予習すること

読む - 意味がわからなければ、辞書を引いて単語調べ -

書く - 書けなそうな単語や語句があったら、書けるようになるまで、予習の段階で書き取り練習をしてしまうこと -

文法 - 文法事項でわからないことがあったら、参考書で調べること -

CD を用いて音読練習

(3) 授業中にわからないことをなくすこと - ノートを綿密に取る -

(4) 単語帳と教科書、授業中に取ったノートをスミからスミまで覚えること

音読練習(CD を用いる)

書き取り練習

問題練習

3. 学校に行っておらず英語の授業を受けていない人

(1) NHK のラジオ講座、TV 講座、NHK の通信高校講座、放送大学(TV、FM ラジオ)の中から、最低でも1つは視聴することをお勧めする。

大きな書店で各番組のテキストをよく比較しながら、自分に合ったものを選んで購入する。学校の授業を受けるのと全く同じ順序で学習すること。

(ア)「予習」 (イ)「放送」の受講 (ウ)「復習」 - 教科書のスミからスミまで覚える -

(2) 学校の授業も TV やラジオ番組も利用しない場合

書店に行きテキストを選ぶ。テキストは必ず用いた方がよい。

お勧めは、CD 付きの「アメリカ口語英語教本 - Spoken American English - 」(研究社)

・入門・初級・中級・上級

(3) このテキストを学校の教科書と考え、授業を受けるのと同じ方法(順序)で丁寧に勉強すること

4. おわりに

(1) 日本語の新聞を毎日 1 時間以上読み、よく内容がわかったことだけでよいから英字新聞で毎日 1 時間音読すること

(2) TV や映画を字幕なしで、字幕のところを見えなくして見ること。録画して何回も見ること

(3) 英語の歌詞の歌を楽しく、できれば歌詞を覚えながら歌うこと

- 英語の詩を音読すること、とても勉強になる -

(4) インターネットを活用して、お気に入りの HP にアクセスすること

* OECD や World Bank(世界銀行)の HP はお勧め

(5) OCW(オープン・コース・ウェア)の活用も

(国内外の各大学では、OCW として大学の講座の内容を HP で公開している。MIT が最も盛んである。)

(6) 英語を実際に使ってみること

- 栃木県各地にある地元の国際交流協会などに入会し、プログラムに参加。外国人の友達を少しずつ作り、英語でコミュニケーションをはかってみよう。

(7) 失敗を恐れないこと

たまには、武者修行のつもりで、英語を公用語として使う国際会議にも参加してみることに。

新聞をよく見ていると、いろいろな国際会議の案内が出ている。

東京青山にある「国連大学」友の会や、外務省のシンクタンクである「日本国際問題研究所」の会員になると、国際会議の案内が月に何回か届く。とてもためになるのでお勧めしたい。(会費は年に 1 万円くらい。インターネットで申し込める。)

以上